



畦畔法面に作業道を設置して草刈り作業を楽にしませんか？

【1 成果概要】

草刈り作業が大変だった長い畦畔法面に、狭幅作業道造成機を用いて作業道を設置することにより、草刈り作業は今までより安全で楽になります。(写真 1、2 および表 1)

雪解け後の作業道形状に大きな変化はみられず、積雪地域において実用的な作業道の設置方法です。

作業道を年間 5,000m 設置した場合の 100m 当たり経費は、概ね 3,300 円です。



写真 1 作業道なし(左)と有り(右)の場合での草刈り作業状況



写真 2 作業道造成作業状況

表 1 作業道造成作業状況

作業道の位置取り
作業道の位置が上下せず水平に造成されるように、作業機の走行ラインに沿って旗棒などにより位置取りをします。

作業道造成 (2 人組み)
作業機オペレーターは、作業道造成機の車輪をやや山側法面に傾けながら走行します。補助員は、作業道造成機に付けた牽引ロープにより、作業機の走行安定と法面からの滑落を防止します。

仕上げ
作業道造成直後の歩行面を土固め作業器材 (タコ足) 及び歩行により十分転圧します。

【2 留意事項】

- 1 作業道の掘削が不十分な箇所では、狭幅作業道造成機の前進後退を繰り返して施工すること。
- 2 崩落により作業道に堆積した土は、排除又は十分に踏み固める等のメンテナンスが必要である。
- 3 降水や湧水等の影響により崩落が懸念される箇所への造成は避けること。

【3 効果】

既存長大法面における草刈り作業の労働強度の軽減と安全性の向上が図られます。

【4 適用対象】

県下全域の既存長大法面ほ場